

ひまわりだより



早いもので、もう師走になりました。日に日に寒くなっていくこれからの時期は、鼻やのどの風邪だけでなく、お腹の風邪（胃腸炎）も流行り始めます。こまめな手洗い・うがい・マスク着用などの感染予防の他にも、十分な睡眠と栄養のある食事、乾燥しやすいこの時期は室内の加湿や換気を心がけて、健やかに新年を迎えましょう。

2023年12月4日



はや
【流行っています！】



いんとうけつまくねつ 【咽頭結膜熱(プール熱)】

アデノウイルス感染症の一つ。38～39℃以上の発熱（上がったたり下がったりしながら 3～5 日程度）、のどの痛み、結膜炎などの症状があります。根本的に治療するお薬はないので、熱が上がってきたらクーリングや解熱剤を使用したり、こまめな水分補給で脱水を予防したり、対症療法となります。吐き気、頭痛の強いとき、咳が激しいときは早めに医療機関に相談してください。

アデノウイルスはアルコール消毒が効きにくいです。石けんと流水でのこまめな手洗いと、次亜塩素酸ナトリウム（薄めた塩素系漂白剤など）で物の消毒をしましょう。

※同じアデノウイルス感染症の“**流行り目(流行性角結膜炎)**”での、お預かりはできません。

ようれんきんかんせんしょう 【溶連菌感染症】

38～39℃以上の発熱、咽頭痛、全身倦怠感といった症状が出現します。また、しばしばイチゴ舌（舌がイチゴのように赤くブツブツした状態になること）や嘔吐を伴います。抗生物質の服用にて、症状は1週間以内に改善しますが、合併症を予防するためには、処方された日数（10日程度）の抗生物質を飲み切ることが重要です。薬を飲みはじめて症状が改善しても、処方された薬は飲み切りましょう。

【インフルエンザ】

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が特徴です。また、普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳といった症状も見られます。

感染後に発症する可能性を低減させる効果や、発症した場合の重症化防止のためには、ワクチン接種もおすすめてです。

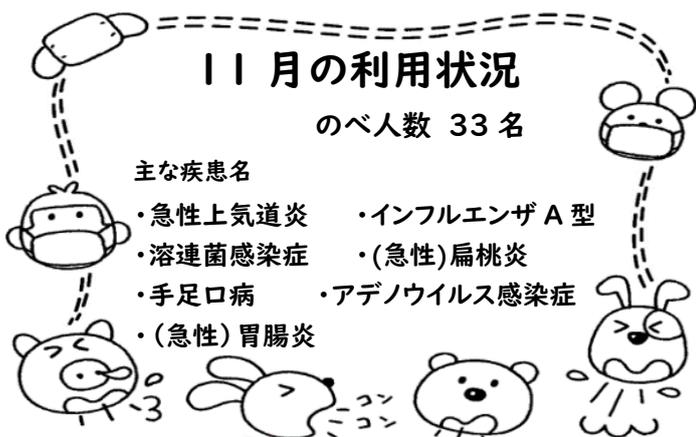
今年も1年ありがとうございました。
よいお年をお迎えください。

11月の利用状況

のべ人数 33名

主な疾患名

- 急性上気道炎
- インフルエンザ A 型
- 溶連菌感染症
- (急性)扁桃炎
- 手足口病
- アデノウイルス感染症
- (急性)胃腸炎



病児病後児保育の利用は、書類での**事前登録が必要です**。郵送にて受け付けております。登録は無料です。詳しくは、ホームページをご覧ください。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



☎ 03-6302-1225

(病児直通)

<https://www.s-iruma-ns.com/>